



やさシティ、まつど。
matsudo

松戸市報道資料
令和8年10月19日

「科学と芸術の丘 2026」と同時開催！ みんなでつくる 「Harusame Book Fes2026」10月24日・25日開催

「坂川ながるるプロジェクト」は、松戸駅周辺の良い都市空間の形成を目指しています。同エリアを舞台に“個店、活動、交流”といった多様な「豊かさ」を提示するイベントを継続的に開催しながら、恒常的なにぎわいがある空間となるための仕組みづくりを行い、持続的な運営を目指すプロジェクトです。

【イベント】 ●ながるるプロジェクト Harusame Book Fes

- 日時** 令和8年10月24日（土）25（日）11時から17時
※荒天中止（中止については、本プロジェクト公式 SNS をご確認ください）
- 会場** 春雨橋親水広場（松戸市松戸1810-1）
松戸駅西口より徒歩8分 ※駐車場はありません
- 内容** 春雨橋親水広場周辺には、かつて本屋があった歴史があります。「坂川ながるるプロジェクト」では2024年始動時から「本」をテーマにしたイベントを継続してきました。当イベントでは松戸周辺の書店などの店主が「マーケットの編集者」となり、独自のマーケットを企画します。本の販売や絵本読み聞かせ、ヒーローショーなど予定しております。また、同日に開催される国際フェスティバル「科学と芸術の丘 2026」のテーマ「小宇宙を編む」と連動し、多様な世界観の店舗が広場に集結します。そして、25日には芝生エリアで「青空カフェはぐはぐ」を共同開催し、キッチンカーやキャンドル作りなどのコンテンツも展開されますので、ぜひお楽しみください。



公式 note



公式ホームページ



公式 X（旧 Twitter）



公式 Instagram

入場料 無料

主催者 有限会社トノコーポレーション

【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市 都市再生部 松戸駅周辺整備振興課

☎047-366-7086 FAX047-704-4050

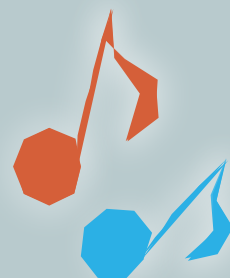
✉ mcms@city.matsudo.chiba.jp

坂川ながるる
プロジェクト



Harusame Book Fes

MATSUDO CITY
はるさめ ブック フェス



2026
10.24^{sat} - 25^{SUN}
11:00 - 17:00
@春雨橋親水広場
※荒天中止

本の販売
フード
焼き菓子
ハンドメイド雑貨
and more!!

マーケット編集者

良文堂書店、ハリ書房、Roam.、珈琲店 SPOT

[詳細はこちら](#)

出店者

ブルーバードブックス、Bake shop rihon、
とりどり、縁まわり、本屋 BREAD &
ROSES、言の葉の棚、Yanagi Books &
Records、マルッコ商店、トトノイ人、柴
沼千晴、LiF crêpes、つりあやめ、むかし
戦隊カンブリオン and more!!



イベントに関するお問い合わせは、公式サイト・もしくは下記の電話やメール等でも受付しています。

主催者：有限会社トノコーポレーション (omusubi 不動産)

お問い合わせ TEL:047-366-7086 (松戸市都市再生部松戸駅周辺整備振興課)

※平日 8:30-17:00 FAX:047-710-0629/E-mail:info@omusubi-estate.com (omusubi 不動産 ※定休日：日・水)

秋の恒例行事を目指して
みんなでつくる『Harusame Book Fes 2026』
2026 年 10 月 24 日(土)・25 日(日)開催

有限会社トノコーポレーション(屋号：omusubi 不動産、所在地：千葉県松戸市、代表：殿塚建吾)は、千葉県松戸市の委託を受けて実施している「春雨橋親水エリア運営振興実証業務（通称：坂川ながるるプロジェクト）」の一環として、2026 年 10 月 24 日（土）・25 日（日）に『Harusame Book Fes 2026』を開催いたします。松戸市で開催される国際フェスティバル「科学と芸術の丘 2026」と同日開催し、本と川辺を楽しむマーケットを展開します。今年は出店者自身がエリアの空間づくりやコミュニティ形成を主導する「マーケット編集者」制を導入し、参加者が自ら街の楽しみをつくる未来の企画者となることを目指します。



まちの声から秋の定番へ。未来のまちのプレイヤーを育む実践の場

本イベントの舞台となる春雨橋親水広場周辺（旧水戸街道沿い）には、かつて本屋があったという歴史があります。「坂川ながるるプロジェクト」では 2024 年の始動時から「本」をテーマにしたイベントを継続してきましたが、地域の方からの「今年も本のイベントはないんですか？」という声に後押しされ、秋の定番イベントとして定着することを目指しています。また、まちづくりの次なるステップとして、運営主導から地域住民が自主的に企画・運営できる持続可能な仕組みへの移行を進めています。今回は複数の「マーケット編集者」を立てる新たな挑戦を実施。出店者が将来的に独立してイベントを主催できるようになるための育成・実践の場をつくり、自分たちの手でまちに楽しい居心地（サードプレイス）を増やしていくことを目指します。

報道関係者問い合わせ先

有限会社トノコーポレーション（omusubi 不動産）
PR 担当 佐藤 pr@omusubi-estate.com / 080-6228-6654

NEWS RELEASE

2025 年 10 月 19 日
有限会社トノコーポレーション

出店者が小さなマーケットを編み、多様な小宇宙をつくる 2 日間

【出店者が自ら場を編集する「マーケット編集者」制度】

今回は、「良文堂書店」「ハリ書房」といった松戸周辺の書店を中心に「珈琲店 SPOT」「Roam.」など松戸を軸に活動する店主が「マーケット編集者」として場づくりを主導します。それぞれが自身の繋がりから出店者（各 3 組程度）に声をかけ、小さなマーケットを企画・編集します。運営側は備品手配などの伴走支援に徹し、持続可能な自走型の仕組みづくりを後押しします。

【芸術祭のテーマと連動し、広場全体でつくる「小宇宙」】

同日開催される「科学と芸術の丘 2026」の今年のテーマ「Weaving the Microcosmos - 小宇宙を編む」に呼応し、マーケット編集者たちによって「編まれ」た小さなマーケットが一つの広場に集結します。個性豊かな惑星や銀河が集まって宇宙ができるように、多様な世界観を持つ店主たちが集い、広場全体で豊かで多様なカルチャーの小宇宙を形成します。

【川べりの滞在空間と、親子で楽しめる共同開催イベント】

穏やかな坂川のロケーションを活かした滞在空間に加え、絵本の読み聞かせやヒーローショーなども予定されており、誰もが思い思いの時間を過ごせるまちのサードプレイスを提供します。2 日目の 10 月 25 日（日）は、芝生エリアにて「青空カフェはぐはぐ」を共同開催します。キンパやクレープのキッチンカー、キャンドル作りワークショップなどを親子でお楽しみいただけます。

詳細： https://www.instagram.com/hughug_2026?cplk=MXN0cmRrN3Jpcjdkdw==



画像：まちの人々のやってみたいアイデアを試せる実験イベント「ながるる空想夏まつり」

イベント概要

名 称：Harusame Book Fes 2026

日 時：2026 年 10 月 24 日(土)、25 日(日) 11:00-17:00

会 場：春雨橋親水広場（〒271-0092 千葉県松戸市松戸 1810-1）

アクセス：JR 常磐線松戸駅徒歩約 8 分

入 場 料：無料

詳 細： <https://note.com/sakagawanagaruru/n/nf4457fcb1e7>

主 催：坂川ながるるプロジェクト

共同開催：青空カフェはぐはぐ（※10 月 25 日のみ）

報道関係者問い合わせ先

有限会社トノコーポレーション（omusubi 不動産）
PR 担当 佐藤 pr@omusubi-estate.com / 080-6228-6654

NEWS RELEASE

2025 年 10 月 19 日

有限会社トノコーポレーション

出店内容：

【マーケット編集者】良文堂書店 / ハリ書房 / 珈琲店 SPOT / Roam.

【出店者】ブルーバードブックス / Bake shop rihon / とりどり / Lif creapes ほか

※本屋、フード、焼き菓子、ハンドメイド雑貨など多数出店予定。

科学と芸術の丘について

市民参加型のボトムアップなまちづくりを目指し、未来を試す、新しいお祭り。戸定が丘歴史公園を中心とした松戸市内を会場に、世界的なメディアアートの文化機関、アルスエレクトロニカとともにキュレーションした、国内外のアーティストによる展示やワークショップ、マルシェなどを行います。また、“カタリストイベント”としてまち中でも様々な取り組みが毎年行われています。



坂川ながるるプロジェクトについて

「坂川ながるるプロジェクト」は、この場所に流れる過去の文脈を踏まえ自然と変わりゆく川の流れのように、持続可能なまちの変化を促す実験です。2024 年 9 月から 2 年間の実験的なプロジェクトとしてスタートし、これからの広場とまちのあり方を地域のみなさんと共に探求し、創造していくことを目指しています。

<https://sakagawanagaruru.com/>

<https://note.com/sakagawanagaruru>

坂川ながるる
プロジェクト

omusubi 不動産

「自給自足できる街をつくろう」がコンセプトのおこめをつくるフドウサン屋。“顔が見える人と暮らし”を築きたいと、2014 年より空き家をつかったまちづくりに軸足をおき、入居者や街の方々と一緒に田んぼや稲刈りをしながら不動産業を行っています。

2020 年 4 月には、下北沢の BONUS TRACK に 2 号店を構え、施設全体の管理とコワーキングスペースの運営を実施。このほか、築 60 年の社宅をリノベーションした「せんぱく工舎」をはじめとしたシェアアトリエや、松戸市主催の国際フェスティバル「科学と芸術の丘」の運営を行っています。自分たちの暮らしも、まちの楽しさも、できるだけみんなでつくっていききたい。そんな想いで

『自給自足できる街づくり』を目指して、今日もまちを耕しています。

<http://www.omusubi-estate.com/>



o m u s u b i
不 動 産

会社概要

有限会社トノコーポレーション（屋号：omusubi 不動産）

所在地：

・松戸本店 / 千葉県松戸市稔台 1 丁目 21-1 あかぎハイツ 112

報道関係者問い合わせ先

有限会社トノコーポレーション（omusubi 不動産）

PR 担当 佐藤 pr@omusubi-estate.com / 080-6228-6654

NEWS RELEASE

2025 年 10 月 19 日
有限会社トノコーポレーション

・下北沢 BONUS TRACK 店 / 東京都世田谷区代田二丁目 36-12

設立：2014 年

代表：殿塚 建吾

資本金：500 万円

社員数：32 名(2025 年 5 月時点)

事業内容：不動産の賃貸・管理・売買、DIY 可能賃貸、シェアアトリエ・シェアスペース運営、DIY ワークショップ等イベント開催、中古物件リノベーション再販事業、エリアリノベーション事業

報道関係者問い合わせ先

有限会社トノコーポレーション（omusubi 不動産）

PR 担当 佐藤 pr@omusubi-estate.com / 080-6228-6654